

FANCT

Quattro vol. 135-Jul.



FANCT（学校だより）の再開にあたって

校長 高橋 薫

新型コロナウイルスの渦中、「FANCT」を休止していましたが、本号より不定期とはなりますが、刊行を再開いたします。

新年度、旭川高専は入学式を行い新入生を迎えました。また、在校生についても、校内放送で始業式を執り行いました。ところが、まさに「さあ、これから！」というところで、ウイルス感染拡大に伴って、わずか1週間で学校を閉めざるを得ない状況になってしまい、学生の皆さんには大変残念な思いをさせてしまったこと、申し訳ありませんでした。

その後、「休業」、「遠隔授業」、「分散登校による遠隔・対面の併用授業」を経て、「対面授業の再開」となりました。不便なこと、不安なこと、もどかしさ、友達とのコミュニケーションの取れなさ、新1年生にとっては学校になじむ機会の少なさなど、苦勞をおかけしています。新型コロナウイルスの状況にもよりますが、学校としては徐々に通常スタイルの授業、部活、寮生活に戻していきますので、不便さの中ご理解いただき、一緒に歩んでいただければ大変幸いです。

学生・保護者の皆様には、このような状況の中でも、本校は『高度で実践的な技術者育成』、『社会課題に立ち向かい課題解決のできる人材育成』、『地域はもとより世界に羽ばたく人材育成』に取り組んでいきますので、ご理解とご協力をお願い申し上げます。



「対面授業」の再開に関して

(令和2年6月29日(月))

教務主事 井口 傑

6月22日(月)から、一部の本科学生が登校する「対面授業」と、自宅等での「遠隔授業」を併用した分散登校を実施し、6月29日(月)からは、全学年全クラスの学生が登校する「対面授業」を再開しました。

登下校時を含め校内においては、(1)体調に配慮したマスクの着用、(2)石鹸による手洗いと手指消毒液による消毒、(3)3密を避ける行動実践を中心に実施しています。また、新型コロナウイルス感染拡大防止対策だけでなく、学生が新しい授業形式および行事日程に対しても快適に過ごせるよう、教職員一同協力し、柔軟に継続可能な方法を実践しております。

状況の変化に対応しつつ、学生の学修の機会を確保するため、行事や授業の変更が今後も予想され、その際には学生と保護者の皆様にご面倒をおかけすることもあるかと思いますが、ご理解とご協力をお願いいたします。



旭川高専製「足踏み式手指消毒液噴霧器」



学生玄関 (注意喚起の掲示)



学生課 (飛沫防止スクリーン)



実験室の掲示

新入学生に向けて

新型コロナウイルスの影響により、本年度の「入学式」に出席が叶わなかった学生会長から、新入学生に向けて「歓迎のことば」が寄せられていますので、ご紹介します。

歓迎のことば

日に日に暖かくなり、春の訪れを感じるようになりました。今日、新たな一步を踏み出す本科および専攻科新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。在校生を代表して、お祝い申し上げます。

さて、今年は連日ニュースで報道されているCOVID-19によりこのような形での歓迎の言葉となりますが、本日より本科の新入学生、留学生の皆さんは普通の高校とは少し異なる高専での生活を始めるにあたり、新しい仲間との生活に期待を抱きつつも、さまざまな不安を感じることと思います。そこで高専について二つの観点からお話させていただきます。

まず、学習面から、これまでの中学校生活とは異なり、各科目に授業時間に応じた「単位」と呼ばれるものがあります。この単位を取得するためには、テストなどの定期試験の点数いわゆる素点に課題などを加味した評価が60点以上でなければならず、それを下回ると赤点とされ単位を取ることができません。普通高校と比較すると評価基準が明らかに厳しいです。そして、その赤点が重なる、具体的には2科目を越える赤点もしくは6単位を越える赤点科目を抱えてしまうと進級できずに「留年」してしまいます。その他には出席日数といった項目もありますが、これは普通高校と変わらないかなと思います。決して脅かそうと思っているわけではありませんが、この高専で過ごしていく上では留年と言う文字は避けては通れないことです。この60点という点数が厳しすぎると感じる人もいるかもしれません。実際にこの基準に苦しんでいる学生をこれまで多く見てきました。実際に留年する友達も見てきました。しかし、これは皆さん次第です。決して油断することなく勉強に励んで下さい。

(次ページに続く)

新入学生に向けて

(前ページから続く)

次に生活面についてお話しします。皆さんは本校に対して「自由な学校」という印象が強いと思います。本校は私服での登校を認め、ピアスを開けていても、髪を染めていても眉毛を全て剃っていても、そのことを罰して謹慎や退学などといったことはなく、普通高校と比べると明らかに「自由」です。しかし、この「自由」とは「ゆるい」という表現が正しいのかもしれませんが、つまり、自らが考え見出したことを発揮することができるということであり、同時に自らの起こした行動には責任が伴うこととなります。この「自由」を履き違えることのないよう肝に銘じて「自由」を行使していただけたらなと思います。

皆さんの本校への入学は人生のゴールではありません。新しいスタートです。ありふれた言葉ですが、これ以上にふさわしい言葉はないでしょう。スタートラインに立つ皆さんは、これからさまざまな障害物を乗り越え、自らを成長させなければなりません。自らの成長のためには本校の先輩は持って来いだと思います。本校には様々な部活動と同好会があります。決して強制的に入らなければならないことはありませんが、入れば普段交流することのない他学科の学生や先生と交流できる貴重な場となり、視野を広げることが出来ます。私は「学生会」という中学校での生徒会にあたる活動に参加しています。この活動は必ず意味のある活動だと胸を張って言えます。学生行事の運営に興味のある方、ぜひ一度学生会室へ見学にいらしてください。心から歓迎いたします。

最後になりますが、高専生活は5年間と長いです。時間の使い方には十分に気を配り、精一杯高専生活を楽しんでください。



令和2年4月6日
電気情報工学科 第4学年
学生会長 神原 愛翔

新任教員の紹介

機械システム工学科 准教授

杉本 剛

令和2年4月に着任しました。旭川は旅行で来たことはありましたが、3ヶ月間住んでみて、とても楽しいところですね。

前職は日産自動車株式会社に勤めており、「モノづくり」、特に「鋼」に関する仕事をしていました。これから皆さんとモノづくりの楽しさを一緒に学んでいければと思います。モノづくりの現場、車（エンジン・モーターとトランスミッションが専門です）に興味がある方は、いつでも研究室に遊びに来て下さい。



新任職員の紹介

事務部長 高野 雅広

この4月に、北海道大学経済学部より異動してきました高野です。

スケールの大きい大雪山系・十勝岳連峰の山々、母なる石狩川の流れを見つつ、新型コロナウイルス感染防止の対策、本校の更なる発展のため、全力を尽くしたいと思っておりますので、どうぞよろしくお願いいたします。



学生課長 齋藤 嘉光

この4月に、秋田高専学生課長から異動してきました齋藤です。実は生まれも育ちも旭川で、旭川での勤務は、法人化直後の旭川医科大学以来となります。

今までの経験を活かして、少しでも皆様のお役に立てるよう、精一杯努めていきますので、どうぞよろしくお願いいたします。



「オンライン・オープン・キャンパス」開催！（令和2年6月25日(木)）

来たる7月11日(土)に全国の高専で初めて、オンライン形式での「オープン・キャンパス（以下，“OOC”）」を開催します。新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、参加希望者は自宅にいながらOOCを通じて旭川高専を知り、また、ふと湧いた小さな疑問もその場から問い合わせることができます。

今回、「**4つの専門学科**（機械システム工学科・電気情報工学科・システム制御情報工学科・物質化学工学科）」や「**施設・設備**」の紹介、「**ロボコン**」から「**校長先生の1日**」に至るまで、20数本の動画を用意しました。こちらは、学校公式 Instagram を通じて、どなたでも観覧いただくことができます。また、参加希望者には事前の申し込みにより、パスワード付きのZOOMアドレスを配付します。当日は、本校の学生と教職員が、どんな些細な質問にも個別にお答えします。（申込締切：7月6日(月)，定員300名）



（お申込み・お問い合わせ）
TEL：0166-55-8178（学生課入試係）
Mail：ooctk@asahikawa-nct.ac.jp

A vertical poster for the '7.11 ONLINE OPEN CAMPUS' event. The background features a collage of smiling students and staff. The text is bold and colorful, with '7.11 sat' in blue, '午前の部・午後の部' in black, 'ONLINE' in large black letters, 'OPEN' in large multi-colored letters (O: purple, P: green, E: blue, N: blue), and 'CAMPUS' in large black letters. Below this, it says '全国の高専に先駆けて旭川高専がやります' in black and pink. At the bottom, a black box contains the text '事前申込受付中 7.6(月)応募締切' in white.

旭川高専産業技術振興会の企業紹介

連載しています「旭川高専産業技術振興会」会員企業のご紹介，本号は以下の2社です。

No.9 株式会社 廣野組

会社概要

- ・創業：1919年5月25日 資本金：5,000万円
- ・従業員：112名（男性102名，女性10名）
- ・事業内容：総合建設業（企画・設計・施工），土木工事，建築工事，木製建具工事

アピールポイント

旭川高専の皆さん，こんにちは。皆さんは建設業に対してどのようなイメージをお持ちでしょうか？昔は「3K」などと呼ばれておりましたが，近年の科学技術の進歩によりイメージが変わってきています。当社では，ドローンを使用した工事管理や，タブレット端末への移行，3DCADを用いた図面の作成など取り入れており，平成30年に経済産業省の「地域未来牽引企業」に選定されました。また，昨今の働き方改革への対策として，当社においても福利厚生を見直すなど，全社員が働きやすい環境づくりを目指して取り組んでいます。

地域の皆様に支えられ，昨年当社は創業100周年を迎えました。安全・自然環境への配慮を第一に，より優れた品質の確保に努めて参る所存でございます。普段目にする道路・橋・建物などの工事現場に少しでも興味を持っている方，いつでも当社に見学にいらして下さい。お待ちしております。

連絡先

住所：北海道旭川市4条通10丁目2233番地11

TEL：0166-23-6101

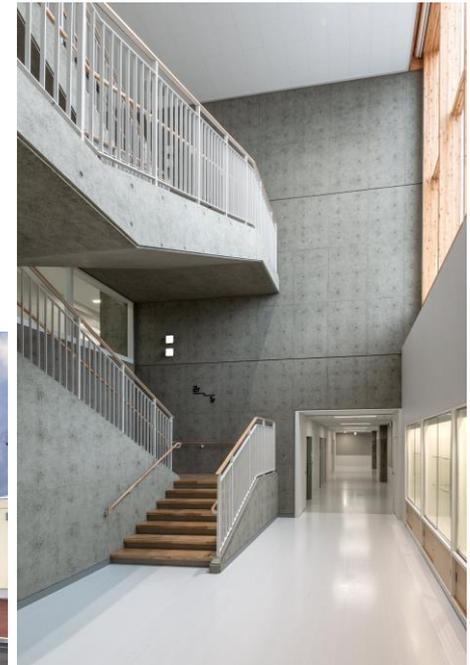
HP：<http://www.hironogumi.jp>



代表取締役社長
田中 実



施工事例 1



施工事例 2

旭川高専産業技術振興会の企業紹介

No.10 株式会社 ホクカン

会社概要

・設立：1978年8月 資本金：1,500万円

・事業内容：

① 環境衛生管理

貯水槽・貯湯槽・給水管の衝撃波洗浄，排水槽・配水管の高圧洗浄，浄化槽の管理，浴場循環装置の洗浄，ねずみ・害虫の防除（IPM）

② 計量証明

水質・大気・土壌の測定分析，飲料水水質検査，温泉成分分析，特定化学物質・有機溶剤の測定分析

③ 商事部門

環境関連機器，消毒剤，水処理剤等の販売



代表取締役社長
木村 進一

アピールポイント

～AWSシステム～

人が生きていくために不可欠なAIR（空気），WATER（水）がきれいであることの大切さと，SUN（太陽）の恵みを自然エネルギーとして利用をすることを事業活動の基本に据え，ビル・空間の快適な環境作りに取り組んでいます。

連絡先

本社：北海道旭川市永山14条3丁目3番4号

TEL：0166-24-5593

支社：北海道札幌市北区新川4条5丁目5番4号

TEL：011-671-7611

HP：<http://www.hokukan.co.jp/>



社屋

FANCT

vol. 135-Jul.



独立行政法人国立高等専門学校機構

旭川工業高等専門学校

〒071-8142 旭川市春光台2条2丁目1番6号

TEL 0166-55-8000 (代表)

FAX 0166-55-8082

URL <http://www.asahikawa-nct.ac.jp>

学校だよりに掲載されている記事・写真などは、学校だよりへの掲載目的以外の利用及び外部への提供は一切行いません。また、個人情報に関するお問い合わせは、上記担当までご連絡ください。掲載の記事・写真・イラストなどのコピー・転写等の二次利用は固くお断りいたします。